

第3回そだつ部会会議録

| | |
|-------|--|
| 日 時 | 2016年7月26日(火) 13:30~15:30 |
| 場 所 | 地域連携交流施設 |
| テ ー マ | 1、参加メンバー 2、協議課題 3、その他 4、次回開催日の調整 |
| 内 容 | <p>1、参加メンバー：11名 近況報告</p> <p>2、協議課題</p> <p>○かけはしCAFÉ 7月5日 参加者12名</p> <p><u>当日の写真を見ながら振り返り</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 託児ではボランティアと一緒に対応していた。後日お礼のメールをいただいた ・ 託児では、泣きやませるために好きな事・得意な事がわかっていたら、もっと的確な対応ができたのではないかと ・ 「かけはし」書き方がわからず、書いている人の物を参考にできた ・ 追記する場合は色を変えるなど、アドバイスができた ・ 当事者の母同士の話で、検査結果のもらい方などの情報交換があった <ul style="list-style-type: none"> → ゆったりした雰囲気よかった。放課後デイサービスの情報など支援者もしてよかった ・ 東はりま特別支援学校高等部の初参加あり「作れてよかった」との感想があった ・ カフェの目的「書く」「交流」「情報交換」「知り合いをつくる」 ・ サポートブックを相談支援から事前に教えてもらって、作っている人がいた <ul style="list-style-type: none"> → 「家でじっくり書くほうがいい」という意見があった → 作ってきた物を見せながら、写真を入れるなどのアドバイスあり → 「書きやすさ」「見せやすさ」を今後検討必要 ・ 書きやすい・見せやすい「かけはし」作りが必要 ・ かけはしCAFÉが「かけはし」を書くきっかけになる ・ 参加者の今までのかけはしCAFÉ参加率がバラバラで、バランスよかった <p><u>次回のかけはしCAFÉについて</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ニーズがあやふや、メリットを明確にする ・ かけはしの活用について、コーディネーターだけでなく担任の先生にも広報が必要 ・ 学校別で特別支援教育の校内研修として、若い先生を中心に話をしていく予定 ・ 先生からの「かけはしを見せてください」という声かけが必要 ・ 親が書くメリットが必要ではないか <ul style="list-style-type: none"> → 見てもらえるような書式 → 「かけはし」にこだわらず、情報や意見交換を織り交ぜる方法もいいのではないかと ・ ニーズがどこにあるのか、調査する必要あり <ul style="list-style-type: none"> → 書きたいのか、交流をしたいのか ・ 月1回定期的に開くオープンカフェなどの環境作りが出来ていれば、支援者は必要ないのかもしれない(例：耳より掲示版、東はりまの野菜販売など) ・ 費用対効果を考えると、自立支援協議会が親の会や事業所などに出向く ・ 先輩ママさんの意見 クリアファイルに資料などを入れて情報をためる方法もある |

- ・保護者だけでなく、先生への理解を進めることが大切
- ・保護者も巻き込んで、「かけはし」を体験してもらう。視点を変える

○支援をつなぐ

それぞれの仕事・活動を知ろう各自が自分の仕事・活動を記入、説明

別紙参照

3、その他

○はたらく部会

- ・はたらく現場見学会：6月28日 参加者26名
- ・はたらくみんなのお茶会運営委員募集 8名応募
- ・はたらくみんなのお茶会：7月30日（土）
- ・金融セミナー（当事者9：30～・保護者向け11：00～）同日開催予定

○くらす部会

- ・親子宿泊体験会：9月2日～3日（福社会館）
- ・宿泊体験：①10月7日（金）～8日（土） ②11月25日（金）～26日（土）

○推進会議・全体研修会

- ・推進会議：6月29日（水）参加者28名

参加した方の感想

- ・全体研修会：7月28日（木）10：00～12：00 播磨町健康いきいきセンター

「暮らしやすさのために私ができること」

講師：平塚職員・手をつなぐ育成会機関誌編集委員 又村あおい氏

○ワークショップ：9月27日（火）13：00～14：30

10月25日（火）13：00～15：30 共に播磨町役場ABC会議室

4、次回開催日の調整

平成28年10月4日（火）13：30～15：30

場所：地域連携交流施設